ASU communication

愛知産業大学
校友会 会報誌
2020
vol.18

AICHI SANGYO UNIVERSITY

contents

02 - Message from ASU
03 - News & Topics
04 - Message from ASU Communication
06 - HARAYAMA Festival
08 - Voice of OB･OG
14 - Information

MESSAGE FROM ASU

校友会からのご挨拶

爽秋の候ではありますが、長引く新型コロナウィルスの影響により卒業生の皆様、在学生の皆様も大変なご苦労をされておられることと思います。

このような状況下ではありますが、今年ご卒業された卒業生の皆様は正会員として、4月に入学された在学生の皆様は準会員として、ご新任の教職員の先生方は特別会員として校友会の会員となります。新しく校友会の会員となられた皆様を歓迎いたします。

校友会とは、卒業生の有志を中心に大学と協力しながら運営する、いわゆる同窓会組織のことです。会員相互の親睦と母校である大学の発展に寄与することを目的に活動を続けています。

私たちの愛知産業大学も新型コロナウィルスの多大な影響を受けており、校友会としましても大学が在学生に向けて行う経済支援奨学金の弾力的運用を支援いたしました。新型コロナウィルスの経済活動への影響を鑑みて、この支援は、来年度も実施する計画です。卒業生、在学生を応援する動画配信企画についても支援しています。

私たち卒業生は、日々の地道な働きや活動によって母校の様々な価値を社会に浸透させていくことができます。校友会は、未曽有の状況の中、社会で経験されたことや現場の動向、一緒にできることについて、後輩たちや先生方、卒業生同士で語り合い共有する場づくりのできる組織として活動していきたいと思います。

校友会のサイト(https://www.asu-mate.com/)、Facebook「愛知産業大学校友会」をご覧ください。会員の皆様のご参加、ご提案、ご意見、ご協力をお待ちしております。

先生方の異動情報

■ 新　任

今西貴子　造形学部建築学科／教授
宮﨑晋一　造形学部建築学科／教授
栗原健太郎　造形学部建築学科／准教授
上野太輔　造形学部スマートデザイン学科／准教授

■ 退　職

加藤　晃　経営学部総合経営学科／教授
星　和樹　経営学部総合経営学科／准教授
鈴木右子　造形学部スマートデザイン学科／准教授

退任された先生方、在任中の熱心なご教授ありがとうございました。感謝の気持ちを込めて紹介させていただきました。

NEWS & TOPICS

愛産大 NEWS&TOPICS

【クラブ・同好会活動 2020年5月現在実績】

■硬式野球部

○ 愛知大学野球連盟
令和元年度 春季リーグ戦 …… 2部Aリーグ優勝！
令和元年度 新人戦……ベスト4
令和元年度 秋季リーグ戦 … 2部Aリーグ・8勝2敗

■男子バレーボール部

○ 東海大学男女バレーボールリーグ
第147回 春季リーグ戦 …… 2部2位
第148回 秋季リーグ戦……2部優勝！
○ 愛知大学男女バレーボールリーグ
第17回 リーグ戦春季大会……1部5位
第18回 リーグ戦秋季大会 …… 2部3位
西日本大学バレーボール選手権…決勝トーナメント進出
東海オープン選手権……ベスト8

■アーチェリー部

第58回 全日本学生アーチェリー男子王座決定戦　4位
第54回 全日本学生アーチェリー女子王座決定戦　6位
第58回 全日本学生アーチェリー選手権大会
……男・2名、女・1名出場
第19回 全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会
……男女決勝進出
2019年度東海学生アーチェリー新人選手権大会
……男女優勝！
2019年度東海学生アーチェリー納射会……男女優勝！

■男子ハンドボール部

令和2年4月　創部

■同好会一覧

【スポーツ系団体】

- 柔道
- スキー
- ボウリング
- テニス
- バスケットボール
- フットサル
- バドミントン
- 軟式野球
- サッカー

【文化系団体】

- 軽音楽
- 漫画研究会
- TRPG
- 建築
- アーキテクチャーコンペティションチーム
- 教職・公務員研究会
- カードゲーム
- スイーツ

「愛知産業大学 建築設計優秀展2019」を発行

愛知産業大学の建築コンペ同好会ACTの編集による作品集。本作品集では1年後期、2年前期・後期、3年前期・後期の各設計課題と卒業設計の優秀作品、さらに学外コンペの入選作品の計27作品を掲載。

▶総合資格学院出版サイト
http://www.shikaku-books.jp/shopdetail/000000000187/

第20回アジア競技大会 エンブレムデザインが 宮下先生案に決定!

2020年3月23日にアジア最大のスポーツの祭典、第20回アジア競技大会(2026年／愛知・名古屋)大会エンブレムデザインが宮下浩先生の応募案に決定しました。

20th Asian Games Aichi-Nagoya 2026

COVID-19 AND ASU

新型コロナウイルスによる危機的経済状況の中、校友会の応援企画を実施

1 新型コロナウイルスの経済的影響による学修継続困難な学生への校友会からの経済的支援

本大学が行う経済支援奨学金の弾力的運用に、校友会が在学生を支援金で支援。国の公的な支援を受けることが困難で、経済的に困窮している家庭の学生を支援該当者とし、一律一人10万円を支給する支援をしました。

支援金額：650万円（各年度）　**実施期間：2020、2021年度**（2年間の実施）

2 YouTube動画制作「カネケンのマインドInjection」

新型コロナウィルスの新しい生活様式を受け、外出自粛の卒業生・在校生に向けてリモートで応援！Zoomミーティング形式を活用したYouTube動画配信中。チャンネル登録お願いします！！

3 校友会Facebookで応援！

頑張る卒業生を細やかながら応援しています。お店で、テイクアウトやオンラインショップを始めました。とか、子供達に塗り絵や工作作品をつくりました。とか、情報をご提供ください。校友会SNSから宣伝させて頂きます。愛知産業大学校友会Facebookに「いいね！」もお願いします！

プロ野球埼玉西武ライオンズ平井克典投手が後輩たちにオリジナルマスクを寄付。平井投手の背番号「25」が印刷され、スポーツアパレルメーカーのAXF（アクセフ）製です。

NEWS

WE ARE MADE IN ASU

卒業生の活動や同窓会を支援します！

卒業生数名が主催の作品展や、ワークショップ、卒業生を対象とした講演会、研修会、同窓会、非営利事業などの企画に対して、ある程度の費用を支援します。ただし、校友会の後援事業として適切であるか審査を行います。

2019実績

林一嘉監督長編映画製作
キドラアローン協賛

NOBIGURUMI展
費用の一部支援

2022年9月開催予定
教員と卒業生による研究・制作展出品者募集中！

造形学部、両学科退職・非常勤も含め、卒業生とのコラボ作品展を学外の会場で実施予定。母校を内・外部へPRし、教員と卒業生・在校生の交流を深め、大学の新たな伝統を築いていくことを目的とし、会場費用を校友会から出資。「お問い合わせ」より参加申請お待ちしております！！

同窓会／活動支援の申請方法がカンタンになりました!!

愛知産業大学校友会WEBサイト　https://www.asu-mate.com/

各種申請・お問い合わせ」にて書類や入力フォームで申請ください!!

OTOGAWA AND ASU

本大学の生まれた地、岡崎が新しく生まれ変わります！

桜城橋（さくらのしろばし）

2020年3月22日開通。乙川にかかる歩行者専用橋。表面に岡崎額田地区産のヒノキ香る木材を使用。東岡崎駅から籠田公園までをつなぐ新名所です！

徳川四天王像

本学デザイン学科名誉教授で、現招聘教授の大野幾生先生が、「桜城橋」に隣接する石造『徳川四天王像』を制作指導しました！

籠田公園

2019年7月にリニューアル！岡崎夏祭りの会場など、色々なイベントが行われます！

OTO RIVERSIDE TERRACE

東岡崎駅直結！2019年11月、レストラン、カルチャースポット、ホテルなどの複合施設「OTO RIVERSIDE TERRACE（オト リバーサイドテラス）」が誕生。

岡崎城下舟あそび

かつて、岡崎城の川を船で行き来していた船頭たちの舟歌「岡崎五万石」を受け継いで、運航しています。卒業生が船頭を務める乙川で贅沢な時をすごしてみては？

コロナに負けるな！

愛知産業大学を卒業生が盛り上げよう！

校友会はこれからの母校のために、卒業生として何ができるかを真剣に考え行動を開始します!卒業生の皆様、力を貸してください。

2020年 オンライン 原山祭

Online HARAYAMA FESTIVAL

卒業生が大学祭を支援したい!

新型コロナウイルス感染症拡大により、全国の大学では春学期授業のオンライン化やサークル活動などの学生の対面を伴う課外活動の自粛要請などが出され、大学が主催する「大学祭」や卒業生組織の校友会が主催する「イベント」も中止決定が相次いでいます。校友会では、学生達の新たな活動の発信の場、原山祭をオンライン化し支援していきます。詳細については、愛知産業大学校友会のWebサイトやFacebookにてお知らせします。

※感染状況の推移などにより、実施内容は変更・中止になる場合があります。

日 時 10/31 または 11/1 時間未定

場所:愛知産業大学　主催:愛知産業大学校友会

1 学生チャレンジ

ダンスや料理、お絵かきなど、学生・教員・OBで様々なことにチャレンジ!激アツすぎるチャレンジャーたちの生き様が原山祭を盛り上げる!

■ゲスト:ダンサーRYO 他

出演調整中
ゲストあり!

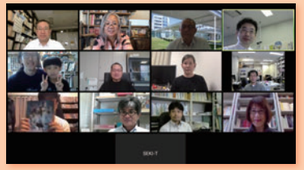
◀ RYO
専門ジャンルJAZZ HIP-HOP
パフォーマーS+AKSのメンバー
ダンサーディレクションや振付、
新人アーティストのMV等に出演

2 2020年 オンライン原山祭 応援メッセージ動画

多彩な業種で活躍する卒業生たちによるオンライン大学祭への応援メッセージ動画を配信!

3 オンライン 校友会総会

校友会活動報告、校友会とは?どんな活動をしているのか?どうしたら入会できるのか?校友会についてわかりやすく説明していくコーナー



4 YouTube「カネケンのマインドInjection」感謝際

卒業生によるYouTube動画「カネケンのマインドインジェクション」に出演した様々なゲストによるパフォーマンスに乞うご期待!　■ゲスト:草川瞬、ダンサーRYO 他

草川瞬 ▶
京都出身のシンガーソングライター。
作曲家、バックコーラスとしても活躍中

参加者と協賛の募集

本企画は映像や撮影など番組制作となりますので、予算が必要となります。つきましては、当趣旨にご賛同いただき、ご協賛賜りますようお願い申しあげます。お申込み・お問合せはwebサイトにてご案内します。

協賛特典:番組内CM、エンドロール、オリジナルTシャツなどに社名やロゴ掲載。オリジナルTシャツとステッカープレゼント。

PC / 携帯共通 https://www.asu-mate.com　facebook検索 愛知産業大学校友会

HARAYAMA FESTIVAL

大学から看板店就職、独立開業と、進む道は同じ。
言葉がなくても通じあう、かけがえのない相棒。

ビジョン・サインワークス　代表

林　亨・はやし とおる

1984年10月21日生まれ。豊橋市出身。桜丘高校を卒業後、造形学部産業デザイン学科に入学。3Dが得意だったことから、プロダクトデザインを専攻。学祭委員長、学生委員長として、さまざまなイベントを手がけ、企画や準備に奔走する学生生活を過ごす。卒業後は看板店勤務を経て、独立開業、現在に至る。趣味は、海釣り。オフの日は釣船を仕立て、伊勢湾沖の神島へ。自身の手でさばき、味わうことが醍醐味だという。

カモカン 代表

嘉森大介・かもり だいすけ

1984年10月4日生まれ。静岡県富士宮市出身。静岡県立富士宮西高校を卒業後、造形学部産業デザイン学科に入学。岩田政巳先生のゼミで、絵画の楽しさを満喫。イベントサークルに所属し、音楽ライブの運営に携わる。卒業後は、看板店から独立開業の道へと進む。静岡県出身ながら、三河弁の温かさに親しみ、今では岡崎が大切なふるさと。それほど大学生活が楽しかったという。休日は、奥さんや5歳の娘さんと買い物や公園で遊ぶ時間を大切にしているという。

Voice of OB・OG

**岡崎市で看板業を生業に活躍する林亨さんと嘉森大介さんは、産業デザイン学科の12期生。
学祭やイベントサークルの企画や運営は、現在の仕事の糧になっていると口をそろえます。
もちろん、ゼミで学んだ絵画やプロダクトも大切なスキルに。卒業後は、看板店勤務を経て独立開業。
かけがえのないパートナーとして協業しています。そんなお二人に、大学生活や仕事の今を語っていただきました。**

産業デザイン学科12期生
卒業してからも針路は同じ

林：嘉森君とは大学時代からの友達で、卒業後に入社した看板店も同じ。看板屋として独立してからも仕事を手伝ってもらっているので、長い付き合いになりますね。同じ道を歩いている大切な仲間です。

嘉森：僕が愛産大校友会の副会長、林君は幹事と、ともに役員。そんなことから、今回、取材されているのでしょう（笑）。林君は昔からリーダー気質。看板店に入社した時も、看板屋として独立開業してからも、親方的な存在です。

林：嘉森君は、学生時代からくまちゃんの愛称で、いろんな人から可愛がられていたね。嘉森君では堅苦しいので、くまちゃんと呼ばせてもらいます。で、くまちゃんの出身地は静岡県富士宮市。文化的には東京圏だけど、なぜ愛産大に？

嘉森：確かにクラスの9割が東京進学組。みんなと同じになるのは避けたかったから、京都の美大を目指したけど、不合格。ご縁があって愛産大に入学しましたが、結果オーライですね（笑）。

林：僕も芸大を目指して、美術の予備校に通っていたけど、愛産大の指定校推薦ですんなり合格。くまちゃんのように受験の苦労はしていない。

嘉森：絵の勉強がしたかったから、林君と同じく、予備校でクロッキーやデッサンを学んでいました。産業デザインを専攻したのは、美術関係で職業に直接結びついているのが、デザインだったから。

林：僕のゼミはグラフィックだったけど、専攻はプロダクト。小さい頃から3Dは得意だったから、大学で学んだことを生かして就職したかった。その点はくまちゃんと同じだね。

看板業を始めて13年
ありとあらゆるニーズに対応

林：看板業へのきっかけは、大学2年の頃。当時、僕は岡崎市代表として、岡崎夏祭りの企画や運営に携わっていました。毎年恒例の「みこし」は人気のイベントですが、みこしを制作していた時、看板店の社長と知り合い、「うちに来いよ」と誘われた。よくいえば、見込まれたってことかな（笑）。それからは、大学とバイトの二足のわらじ。就活をすることもなく、看板店に就職しました。

嘉森：僕はまったく就活をしていなかったけど、林君に誘われて同じ会社に就職。以来、看板一筋13年です。

林：一口に看板といっても、屋外、屋内とさまざまなカテゴリーがありますが、看板なら何でもござれ。LEDを組み込んだものから最近のデジタルサイネージまで、ありとあらゆるオファーに対応しています。

嘉森：大学の教室や施設に表示されている案内板やサインも、僕たちの仕事です。

林：僕たちの作品で愛産大の学生さんたちが見たことがあるものは、モデリングスタジオのステンレス製のプレートかな。一口にデザインといっても、いろいろな業態の仕事があるし、社会のあらゆるシーンを演出する大切な仕事だと思っています。

街並みに立つ、屋外広告
目に見える成果に、達成感はひとしお

嘉森：もともとデザイン志望で看板店に就職したのですが、僕は最初から現場担当。工事現場の人みたいな感じで困惑したこともありますが、今となっては体を動かしている方が性に合っている。看板屋を続ける

林　亨 さん
（造形学部 産業デザイン学科・2007年卒業12期生）
校友会役員／幹事

voice OB・OG

からには独立しようと思い、5年前、「カモカン」という屋号を掲げ、開業しました。

林：僕も入社3年目頃から、自分でやりたいという気持ちが強くなりました。一足先に開業したくまちゃんも順調だったから、それも大きかったですね。今から3年前、「ビジョン・サインワークス」を開業しました。

嘉森：僕の主な仕事は、看板の取り付けや取り外し。付き合いのある工務店や店舗設計の事務所から仕事をいただくこともあるし、林君のような親方から応援を頼まれることもあります。看板はまっすぐ立っていますが、これがなかなか難しい。入社した頃は、10回の仕事の内、3回うまくいけばよい方。自分の力量不足なので当たり前かもしれませんが、上司から叱られ、いらついたこともありました。10回やったら、10回、同じことができるのが理想です。13年たった今でも理想形には至りませんが、自分の技術を過信せず、常に上を目指していきたいですね。

林：くまちゃんが仕事で大切にしていることって、何ですか?

嘉森：安全第一が、一番大切です。梯子に上っての作業中、材料や工具が落下すれば、通行する人にケガをさせてしまうことにもなりかねないし、逆に自分が落ちてしまうこともある。僕自身、危ないなと感じたことはあります。作業中はもちろんですが、設置した看板が落ちないように、細心の注意を払っています。

林：くまちゃんのていねいな仕事ぶりには、定評があるからね。

嘉森：お客さんのニーズは本当にさまざま。早く仕上げてほしい人もいれば、時間をかけてでも丁寧にやってほしい人もいる。こだわりや大事なところは微妙に違いますが、そんなお客さんのニーズには確実に応えていきたいですね。

林：それは僕も同じだ。では、仕事のやりがいについて、聞かせてくれる?

嘉森：工事現場には、ガスや水道、電気と、さまざまな仕事があります。それらは縁の下の力持ち的な大切な仕事ですが、実際に外から見ることはできません。それに比べ、看板の目的は広告です。街並みの中でもひと際目立つような存在で、車を走らせていても、視界に飛び込んできます。仕事の成果が目に見える。そんなところに達成感があります。

情報のアンテナを立て
新しいトレンドには貪欲に

林：確かに。それが看板屋の醍醐味かもしれないね。

嘉森：林君の仕事は営業から設置まで、一連の作業を統括しているわけだけど、心がけていることは?

林：仕事によって、大きさや形状はいろいろですが、素材は臨機応変に選ぶようにしています。新しい素材やトレンドについては、サインディスプレーショーのような展示会に出かけて勉強したり、資材屋さんから「こういうものがあるよ」と情報提供されたりします。要はいつも引き出しをいっぱいにしておくこと。とはいえ、自分から「こうしましょう」と提案することはありません。お客さんから「こういうものを作りたいんだけど」と相談された時、お客さんの方向性やコンセプトをくみ取り、最適なものを提案していく。お客さんのニーズを実現することが、一番大切だと思っています。

大学時代も起業した今も
二人の関係性は、あ・うんの呼吸

林：看板屋になってから、これまで二人で手掛けた仕事は4千件以上。

嘉森：親方と現場の技術者。この役割は、大学時代から変わっていない。学祭を企画するのが林君、設営や運営の段階になると、一緒に作り上げていく。看板屋になってからも、営業したり、デザインしたりするのが林君で、現場には一緒に出かける。東海三県をはじめ、京都にも出かけたね。

林：4～5日は京都に滞在して、仕事を終えたら、夜の街に繰り出し、飲み歩いたね。稼ぐ金より、使う金の方が多かった(笑)。

嘉森：僕は酒は強い方じゃないけど、林君は酒豪だからな。大学時代は介抱したこともあったっけ。

林：でも社会人になってからは、くまちゃんより先につぶれないように、心がけているつもり。

嘉森：僕たちの関係を一言で表現するなら、かけがえのない相棒。親方として、たくさん仕事を持ってきてくれるし、本当に頼りになる。

林：くまちゃんは、あまり言葉数は多くないけど、実直に努力をする職人肌。

嘉森：初めて聞いた。うれしいなあ。

林：何を言わなくても通じるところが、本当に助かっているし、一番楽な相棒です。

ゼミや学祭の経験が、一生の財産に
大学生活を、思う存分満喫してほしい

林：学生時代、一番熱中したのは、スケボー。ジャンプ台とかハーフパイプを作って遊んでいました。学祭委員長や学生委員長としても、さまざまなイベントを企画し、運営したけど、今から思えば、そこで学びましたね。親方として人をまとめることを。イベントの責任者というととかく大変だと思われがちですが、良いブレーンを周りに固めて担当を任せれば、きっちり動いてくれた。

嘉森：大学祭は本当に面白かった。僕は先輩から引き継いだ企画で、レゲエやヒップホップのライブを担当。本業のミュージシャンと打ち合わせをしたり、トラックを手配したり、集客するために、チラシを制作して、配りに行ったり…。いろんなジャンルの人に出会い、学ぶことも多かった。おかげでライブは大成功。盛り上がりました。

林：くまちゃんは寡黙だけど、笑いをとれるムードメーカー。くまちゃんの下宿にはいつも人が集まり、飲んだり、騒いだり…。

嘉森：3年から岩田ゼミに所属したけど、純粋絵画を追究する岩田先生は、絵画の楽しさを存分に教えてくれた。もともと絵画が好きだった原点に戻ったような気がして、楽しかったなあ。卒業制作は、マングローブのフォルムをアクリルで描きました。

たまに、手書き風のレタリングをしたり、ロゴを書いたりする仕事もありますが、大学で学んだことが役立っていると思う。

林：僕は松浦ゼミでしたが、動機は松浦先生が、ほかの教育機関で渓流釣り教えるほど、釣り好きだったから。僕は海釣りとジャンルは違うのですが釣り好きだったから松浦ゼミ。卒業制作は木製のルアーを何十本も制作しました。

大学で深めた絆が
仕事のネットワークにも

林：岡崎で活躍しているイベントプロデューサーの金刺健太さんは大学の先輩で、仕事をもらっているし、同じく先輩の岐阜を拠点に東海地区で店舗開発等を手がける上村大輔さんからも、仕事のオファーがあるなど、大学で築いたネットワークは、すべて今につながっています。だからこそ、大学4年間で学んだこと、経験したことを生かして就職してほしい。

嘉森：大学で林君のようなかけがえのない相棒に出会い、先輩がいて、今がある。だからこそ、大学生活を満喫してほしいと思います。僕たちは卒業後も大学との関わりが深く、校友会の役員として、毎年秋の大学祭の校友会ブース「大人原山祭」を飾る展示パネルやDJブースの制作、設営を担当しています。

林：「大人原山祭」では、卒業生たち現在の作品展の巨大パネルを設営し、卒業生同士の親睦や先生方や在校生との交流を深めるイベントDJブース を運営するなど、楽しいイベントをたくさん企画しています。ぜひ、後輩の諸君も参加して、一緒に盛り上がりましょう。そして愛産大ならではの絆を深め、仕事もプライベートも充実させましょう!

校友会役員のスタッフTシャツ

嘉森 大介 さん
(造形学部 産業デザイン学科·2007年卒業12期生)
校友会役員／副会長

東岡崎のランドマークが、今のビジネスフィールド店舗開発や営業戦略のスキルは、将来の礎に

LIGHT DINING
セールスマネージャー兼デベロッパー担当

永井啓介・ながい けいすけ

1991年12月17日生まれ。岡崎市出身。愛産大にはバレーボール部の特待生として入学。エースとして活躍する。卒業後、ブライダル事業を展開する「ノバレーゼ」に入社。大阪に配属され、新規プランナーとして勤務した後、リクルートゼクシィなびに転職。1年の勤務後、現在の会社に就職。デベロッパーとして、「Light Cafe Riverside Garden」のオープンに携わり、セールスマネージャーを担当。オフはビーチバレーの練習や全国各地の大会に足を伸ばしている。試合後のビールは格別だが、筋力を維持するため、飲みすぎはぐっとこらえる日々。

Voice of OB.OG

永井 啓介 さん

（経営学部 総合経営学科·2013年卒業18期生）

「OTO RIVERSIDE TERRACE」（オトリバーサイドテラス）は、レストランやカルチャースポット、ホテルなどを複合する施設です。眼前では乙川が美しい表情を見せ、名鉄東岡崎駅にはペデストリアンデッキにより直結。新しいランドマークとして注目を集めています。ここが現在の私のビジネスのステージ。「Light Cafe Riverside Garden」のデベロッパーとして、店舗開発や販促を担当し、今はセールスマネージャーを任されています。出店に際しては、世界的な大手チェーンと競合かという厳しい局面もありましたが、名古屋でも人気の「Light Cafe」のブランドイメージも評価され、今回のチャンスをいただくことができました。

ですが、名古屋で店舗展開する「Light Cafe」とは違った店づくりにこだわっています。例えば、ドリンクや食べ物をお気に入りの場所で味わってために、テイクアウト専用の窓口を設置。また結婚式の2次会のパーティーなどにご活用いただくなど、岡崎の人々に愛される店づくりを目指しています。そんな営業戦略は、前職で培ったノウハウやネットワークが生きているのかな。新卒で入社した「ノバレーゼ」は当時東証一部上場のブライダルの会社です。サービス業では東京ディズニーランドに次ぐ人気企業。入社試験も8次までと難関でしたが、社長の「この会社で暴れてください」という姿勢に共感し、ウエディングプランナーとして2年間勤務。そのままいれば、出世や報酬は約束されたかもしれませんが、「籠の鳥」になるという不安もあり、もう少しウエディングのマーケットを勉強したいと、リクルートゼクシィなびに転職しました。仕事は海外事業の営業とゼクシィの編集。営業として全国のMVPに輝いたこともありましたが、さらなる新天地を求めて退職。それらの仕事で身に付けたノウハウを見込まれ、高級外車の販売や不動産業、レストラン事業を展開する「LIGHT AUTO1」グループに入社。ライトダイニング事業部で「Light Cafe」の販売促進や店舗開発に携わるようになりました。それまでの仕事で営業的なセンスは磨いてきましたが、お金の動きにはまったくの門外漢。1円、2円に至るまでコスト管理が厳しい飲食業を体験しようと思っていたので、まさに渡りに船でした。とはいえ、転職のたび、新しいことにチャレンジしますから、その都度勉強です。大学時代、勉強とは無縁の生活でしたが、授業でノートを取っていたことが役に立っているから、ビジネスの勉強も理解できるのだと思います。将来的には、どんな場所にいてもお客さまや社会に貢献できるスキルを身に付けるため、もっと勉強したいですね。

学生時代は、高校時代からバレーボール部に所属し、愛産大には特待生として入学。大学には全国的に有名な選手が同世代にも先輩にもいましたが、当時のバレーボール部は6人制バレーに必要な7人だけ。史上最小規模でした。両親に金銭的な負担をかけまいと自活していたため、部活よりもバイトに明け暮れる日々。社会人になった今は、男子6人制のアマチュアのクラブチームを結成して練習に励んだり、ビーチバレーボールチームに所属するなど、仕事とバレーボールを両立させています。それは大学時代に燃え尽きなかったから。期待されて入学したはずなのに、もっとバレーに真剣に向き合えばよかったという悔いが、私をバレーに駆り立てているのだと思います。

愛産大は、野球場や体育館も整備され、スポーツに没頭できる恵まれた環境です。プロ野球の西武で活躍する平井克典投手のような優秀な選手もいますから、部活で頑張る学生たちは、そういうところを目指してほしい。せっかく選手として期待されて入学したのなら、良い成績を残して恩返しするのが使命だし、その努力が将来を拓いてくれると思います。

令和2年度校友会活動報告・計画

1. 令和2年度常任役員会 …… 2020/2/16
2. 令和2年度役員会役員準備会議 …… 2020/7/8
3. 令和2年度臨時役員会 …… 2020/5/18～6/5
4. 令和2年度役員会 …… 2020/7/25
5. 令和2年度総会 …… 2020/10/30か11/1
6. 校友会会報誌発行 …… 2020/9/14

令和元年度会計報告

「収入の部」

前年度（平成30年度）繰越 …… ¥40,325,189
入会費（1年生在籍者数+3年次編入学生×¥4,000）
造形学部・経営学部 338名 …… ¥1,352,000
同窓会費（在籍者数×¥5,000）
造形学部・経営学部 1,013名 …… ¥5,065,000
校友会育英・奨学金返還金 0名 …… ¥0
収入の部　計 …… ¥46,742,189

「支出の部」

会報誌事業費 …… ¥2,534,803
校友会Webサイト更新管理費 …… ¥7,662
大学祭・同窓会事業費 …… ¥3,679,534
校友会学生募集事業 …… ¥744,127
名簿維持管理委託費 …… ¥54,000
事務費 …… ¥199,655
支出の部　計 …… ¥7,219,781

「合　計」

収入の部　計 …… ¥46,742,189
支出の部　計 …… ¥7,219,781
合計 …… ¥39,522,408

令和2年度校友会予算案

「収入の部」

※入学者数、対象者数は令和2年5月1日集計に基づく

前年度繰越 …… ¥39,522,408
入会費（1年生在籍者数+3,4年次編入学生×¥4,000）
造形学部＋経営学部 335名 …… ¥1,340,000
同窓会費（対象者数×¥5,000）
造形学部 ＋経営学部 1,150名 …… ¥5,750,000
校友会育英・奨学金返還金
収入の部　計 …… ¥46,612,408

「支出の部」

会報誌事業費 …… ¥2,600,000
校友会Webサイト更新管理・リニューアル費 …… ¥2,010,000
大学祭・同窓会事業費 …… ¥5,000,000
校友会学生募集事業（学科コラボ企画） …… ¥50,000
名簿維持管理委託費 …… ¥54,000
校友会育英・奨学金 …… ¥120,000
事務費 …… ¥200,000
校友会経済支援奨学金 …… ¥6,500,000
支出の部　計 …… ¥16,534,000

「合　計」

収入の部　計 …… ¥46,612,408
支出の部　計 …… ¥16,534,000
合計 …… ¥30,078,408

令和2年度校友会活動計画

1. 広報事業計画　校友会会報誌、校友会Webサイト、フェイスブック
2. 企画事業計画　大学に訪れる卒業生をおもてなしするイベント、同窓会
3. 校友会学生募集事業　入学生募集の学科コラボ、自主企画
4. 情報事業計画　会員名簿管理、校友会運営サイト運営管理
5. 校友会育英・奨学金制度　校友会が育英基金を出資し運営します
6. 校友会経済支援奨学金　大学が行う経済支援奨学金に、校友会が支援協力します。
7. 校友会後援事業　校友会賞の実施　同窓会後援事業の実施

（詳しくは校友会webサイト　https://www.asu-mate.comまで）

令和2年度校友会　役員・常任役員

※（新）は新任

役員（正会員）／常任役員

第 1 期（1996年）　門井由佳（産/副会長）、森本達也（産）、田中 学（建/相談役）
第 2 期（1997年）　井原 勇（建/相談役）
第 3 期（1998年）　檀 正宏（産）、関 辰昭（産）、廣瀬伸行（産/会計）
第 8 期（2003年）　前田和寿（産）
第10期（2005年）　金刺健太（建/幹事長）、林 一嘉（産/参与）
第11期（2006年）　榎本 晋（産/幹事）、山田剛嗣（経）
第12期（2007年）　水野広大（産/会長）、嘉森大輔（産/副会長）、林 亨（産/幹事）
第13期（2008年）　三岡早苗（デ）
第14期（2009年）　菊池多江子（デ）
第20期（2015年）　鈴木摂子（デ）、加藤大地（経/会計監事）
第22期（2017年）　柴田紗衣（デ/会計監事）、市川詩葉（デ/書記）
第23期（2018年）　宮内直弥（経）
第24期（2019年）　ゴンザレスアンジェロ（経）

役員（特別会員）

理事長（オブザーバー）…… 小林英三 理事長
学長 …… 堀越哲美 先生
大学院研究科長 …… 新井勇治 先生
造形学部長 …… 新井勇治 先生
経営学部長 …… 丸山　宏 先生
建築学科長 …… 宇野勇治 先生
デザイン学科長 …… 宇井朗浩 先生
総合経営学科長 …… 木村秀幸 先生
事務局長 …… 計屋昭生 局長
学生委員会委員長 …… 奥田真之 先生
総務広報部部長 …… 落合英治 部長
学生課長 …… 吉田　勝 課長
校友会顧問 …… 林羊歯代 先生
…… 木村秀幸 先生

校友会組織

広報委員会 …… 門井由佳
企画委員会 …… 金刺健太・森谷　誠
情報委員会 …… 廣瀬伸行

愛知産業大学校友会　育英・奨学金の概要

対　　象：愛知産業大学学生で、成績優秀、品行方正にして、かつ経済的事情のために就学困難と認められる者に対して、奨学金を貸与（無利子）します。
定　　員：年間2名
貸与金額：50,000円（月額）
採用条件：対象条件に該当する者で、各学科長の推薦を受けた者。
原則、日本学生支援機構奨学金を受けていない者。
3・4年生を対象とする。（応募多数の場合は4年生を優先する）
連帯保証人を必要とする。
選考方法：奨学金の決定は、提出された奨学金願書に基づき、審査委員会で審議し決定する。
返済期限：原則、卒業後5年以内とする。（無利子）
ただし、大学院等への進学者については、返済を猶予する。

Information

会報誌が届いていない卒業生をご存知の方へ

愛知産業大学造形学部・経営学部を卒業したのに会報誌が届いていないという方をご存知ありませんか。会報誌が転居先不明などで届かなかった場合は、次回からの会報誌発送を止めています。もし、届いていないという方をご存知でしたら、ご本人様から、現在の連絡先を本誌連絡先までお知らせいただきますようお伝え願います。

Renewal!

校友会webサイト / facebook

校友会では下記URLでwebサイト、facebookを運営しています。最新情報の閲覧、情報交流はもちろん、住所変更や各種申請書ダウンロードなどがwebサイト上からも可能ですのでご活用ください。

PC / 携帯共通
https://www.asu-mate.com

facebook検索
愛知産業大学校友会

役員・常任役員の募集

校友会とは、母校と卒業生とのネットワークづくりや、親睦を深めるための活動を目的として発足された団体です。運営は卒業生各期の代表である役員と常任役員が行っています。役員は年に1回以上、役員会にて計画された校友会活動についての決議を行います。常任役員は、校友会活動の計画と実際の運営を行います（現在は、メーリングリストにて活動中）。特に、造形学部建築学科生と経営学部生の役員を募集中です。参加ご希望の方は、下記までご連絡ください。また、役員とあわせて、活動にご参加いただける有志の方の募集も行っておりますので、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

連絡先

〒444-0005
愛知県岡崎市岡町原山12-5　愛知産業大学　校友会
fax:0564-48-7756　mail:info-koyu@asu.ac.jp
※スタッフ常駐ではないため、なるべくメールでのご連絡をお願いします。

愛知産業大学 校友会会報誌　ASU communication vol.18　2020年9月14日発行

令和2年度 校友会スケジュール

大学の行事に合わせて、校友会主催のイベントを多数ご用意しています。卒業生の皆様、同期生やご家族お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようお願いいたします。　※感染状況の推移等により、実施内容は変更・中止になる場合があります。

●2020年10月31日（土）または11月1日（日）　場所／愛知産業大学
愛知産業大学大学祭　校友会主催「2020オンライン原山祭」
学生達の新たな活動の発信の場として、原山祭をオンライン化し支援していきます

●2021年2月11日（木・祝）～14日（日）　10:00～18:00　場所／愛知産業大学各フロア
造形学部デザイン学科「卒業研究・制作展／学内展　校友会卒業研究審査」　14日（日）19:00～ 校友会懇親会

●2021年3月7日（日）13:00～〈展示は2021年3月2日（火）～3月7日（日）10:00～18:00〉
場所／愛知芸術文化センター8F 愛知県美術館ギャラリーJ室
造形学部デザイン学科「卒業研究・制作展／学外展　校友会卒業研究審査員賞表彰式」

●校友会卒業研究審査員賞／講評会
造形学部「卒業研究・制作展／学内展」より、在学生や母校の研究成果の評価と制作意欲向上のため
「校友会卒業研究　審査員賞」の授与を実施します。

●対象：卒業研究（作品・論文）
デザイン学科・建築学科／学内展にて、卒業生が審査。学外展で表彰。総合経営学科／審査方法、表彰について検討中。

●2021年3月20日（土）　愛知産業大学卒業式　謝恩会「退職される恩師へ、校友会花束贈呈」

詳しくは、校友会webサイト（https://www.asu-mate.com）またはfacebook「愛知産業大学校友会」でアナウンスしています。